

作成番号:0283

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2025-283

内容:高血圧と心血管疾患の死亡リスクは関連があり、非高齢者で顕著である

出典:Long-term risk of cardiovascular mortality according to age group and blood pressure categories of the latest guideline.

Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension. 2025 Feb 20; doi: 10.1038/s41440-025-02151-w.

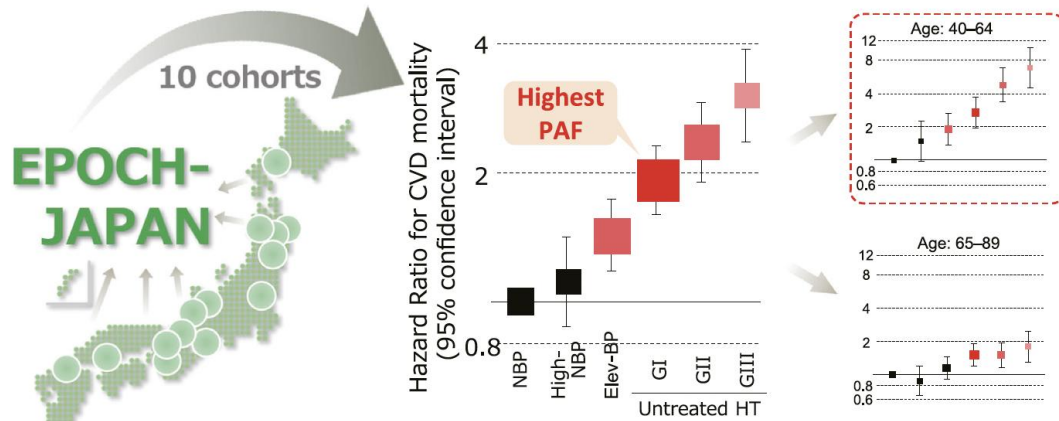
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39972175/>

高血圧は、心血管疾患(CVD)のリスクとなるが、そのリスクは日本人ではどの程度の血圧(BP)分類や年齢から発生するのであろうか。東北医科薬科大学医学部公衆衛生学・衛生学教室の研究グループは、このテーマについて EPOCH-JAPAN 研究データを用いて、最新の BP 分類と CVD 死亡リスクの関連を検討した。この研究は Hypertension Research 誌オンライン版に2025年2月20日に公開された。

わが国で実施された 10 のコホート研究データを統合し、70,570 例(平均年齢 59.1 歳、女性 57.1%)を対象としたデータを解析した。追跡期間は平均 9.9 年で、降圧治療の有無で層別化した。約 10 年間の追跡期間中に 2,304 例の CVD 死亡が発生した。CVD 死亡リスクは BP 分類が高くなるとともに段階的に増大することが示され、この関連は 40~64 歳の高血圧未治療者でとくに顕著であった。高血圧未治療の I 度高血圧群(診察室:140~159 かつ/または 90~99mmHg、家庭:135~144 かつ/または 85~89mmHg)が CVD 死亡に対する最も高い集団寄与危険割合(PAF)を示した。治療を受けた患者を高血圧群に含めると、高血圧群の CVD 死亡に対する PAF は 41.1%だった。

これらの結果は、高血圧の早期予防と管理の重要性を示唆する。

Long-term risk of cardiovascular mortality according to age group and blood pressure categories of the latest guideline



Early-stage prevention and management of hypertension is crucial